

ごあいさつ



取締役頭取

古出 哲彦

皆さまには、日頃より大光銀行グループをお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

皆さまの大光銀行グループに対するご理解をより深めていただけますよう、本年も「大光銀行ディスクロージャー誌」を作成いたしましたので、ご案内申し上げます。本誌では、経営方針や最近の業績、将来に向けたビジョン、各種業務のご案内や取組み施策など幅広い項目について、できるだけ具体的にわかりやすくご紹介させていただいておりますので、ご一読いただければ幸いに存じます。

さて、このところの経済情勢をみますと、景気は緩やかな回復を続けており、先行きにつきましても、政府による経済対策が下支えするなかで、回復基調が続くことが期待されます。一方、海外経済の下振れなど、景気を下押しするリスクも依然として存在しております。

このような環境のもと、当行は平成24年4月より第9次中期経営計画「プラスα計画～感謝を笑顔に、笑顔から信頼へ～」を推進しており、本年4月に最終年度を迎えております。当行は、今後とも円滑な資金供給の維持・拡大に努めるとともに、お客さまとの密接な関係を通じたコンサルティング機能を発揮していくことで、本計画の経営ビジョンとして掲げる「『親しみやすさ』のバージョンアップ、『相談したい銀行』地域No.1」を目指してまいります。

皆さまにおかれましては、引続き倍旧のご支援、ご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成26年7月